



消防年報

平成26年版



新南島分署 平成27年2月25日竣工

紀勢地区広域消防組合 消防本部

●平成27年7月刊行●

消防年報の目次

●紀勢地区広域消防組合のあゆみ	1~6
●紀勢地区広域消防組合の記録	7~8
●消防現勢	
○消防の管轄	9
○消防の組織	10
○消防庁舎	11
○消防緊急通信指令施設	12
○消防車両等	13~14
○消防の予算	15
●消防統計	
◇平成26年中の主な行事	16
◇職員の研修	17
◇火災の統計	18
◇救急・救助の統計	19
◇防火対象物	20
◇危険物施設	21
◇届出書類等の受理	22~23
●紀勢地区防火協会	24
●消防団	25

この消防年報は、紀勢地区広域消防組合の平成26年及び平成26年度中における諸般の現状と諸統計を収録し紹介するとともに、今後の消防防災行政の参考資料に供する目的をもって編集しました。

消防関係者はもとより、あらゆる方面で広く御活用いただければ幸いです。

平成27年7月

紀勢地区広域消防組合 消防本部

紀勢地区広域 消防組合のあゆみ

紀勢地区広域消防組合のあゆみ

年度	月	記 事
昭和46年度	11月	地区の発展と構成町村の一体的進行を推進することを目的に、恵まれた自然に根ざした豊かな定住圏域を目指して、居住環境の整備を中心とした圏域づくりを進めるため紀勢地区広域市町村圏協議会(大台町、宮川村、大宮町、紀勢町、大内山村)が設立され、防災面として常備消防体制の確立を検討されたが、設置の具体化に至らず。
平成3年度		地元消防団で消防業務を行っていたが、団員の多くが町村外の会社等へ勤務しており、昼間の火災出動等の団員確保が困難となり、消防業務に支障をきたすようになったことから、再度、常備消防について検討するため、圏域外の1町(南島町)を加えて紀勢地区広域市町村圏協議会内に消防常備化検討委員会(町村総務課長で構成)を設置する。
4年度		常備消防の具体化に向け、他県及び県内の消防本部視察等を実施する。
5年度	6月	関係町村の町村長会議において協議結果を報告する。
	2月	関係6ヶ町村(大台町、宮川村、南島町、大宮町、紀勢町、大内山村)が広域消防組合設立に合意し、組合規約の設定、組合の名称を「紀勢地区広域消防組合」とし、消防本部を大台町に、分署は紀勢町と南島町に、出張所は宮川村に設置し、「1本部、1署、2分署、1出張所」体制とすることで全員異議なく、これを承認する。
6年度	4月	三重県知事に紀勢地区広域消防組合設立許可申請を提出する。
	6月	三重県知事の 設立許可 を受ける。 (平成6年6月6日許可)
	11月	第1回組合議会開催 管 理 者 千 原 淳 氏 副管理者 谷 口 友 見 氏 副管理者 小 西 光 三 氏 収 入 役 上 野 征 治 氏
7年度	4月	紀勢地区広域市町村圏協議会から独立し「 紀勢地区広域消防組合 」として、仮庁舎(多気郡大台町弥起井320番地の3)において事務を開始する。 消防職員 12名採用
	7月	初代消防長 藤 原 壽 一 氏 着任

	10月	自治省消防庁の政令指定都市希望ヒヤリングを受ける。 (平成7年10月25日)
	12月	消防職員 1名採用(消防経験者) 他消防本部に消防職員4名を研修派遣する。(12日間)
	1月	仮庁舎、南島町及び紀勢町役場で、平日夜間、土日、祝祭日及び年末年始に救急業務のみ業務を実施する。
8年度	4月	当組合構成6ヶ町村が 政令指定 を受ける。 (平成8年4月2日) 消防職員 42名採用(内消防経験者4名) 仮庁舎を奥伊勢消防署とし、次のとおり配備する。 消防ポンプ自動車(CD-1) 1台 水槽付き消防ポンプ自動車(水1-A) 1台 救急車(2B) 1台 生活協同組合全日本消防人共済会から 指令車1台 の寄贈を受け、消防本部に配備する。
	6月	日本消防協会から 救急車(2B)1台 の寄贈を受ける。
	11月	紀勢分署、南島分署 及び 宮川出張所 が完成し、次のとおり配備する。 紀勢分署 消防ポンプ自動車(CD-1) 1台 水槽付き消防ポンプ自動車(水1-A) 1台 救急車(2B) 1台 広報車 1台 南島分署 消防ポンプ自動車(CD-1) 1台 水槽付き消防ポンプ自動車(水1-A) 1台 救急車(2B) 1台 広報車 1台 宮川出張所 水槽付き消防ポンプ自動車(水1-A) 1台 救急車(2B) 1台 広報兼小型ポンプ積載車 1台
	12月	職員60名(消防吏員56名、その他の職員4名)で、消防本部、奥伊勢消防署、紀勢分署、南島分署及び宮川出張所にて本格業務を開始する。 (平成8年12月1日)
	2月	消防本部、奥伊勢消防署 庁舎完成
	3月	三重県共済農業協同組合連合会から 救急車(2B)1台 の寄贈を受け、奥伊勢消防署に配備する。

9年度	4月	消防職員 15名採用
	3月	(平成10年度 消防吏員1名退職)
10年度	4月	消防職員 1名採用
	8月	紀勢地区防火協会が設立する。
	3月	日本損害保険協会から高規格救急車1台の寄贈を受け、奥伊勢消防署に配備する。 (平成11年度 消防職員1名退職)
11年度	4月	収入役 上野征治氏 退任 森本利樹氏 着任 副管理者 小西光三氏 退任 上野征治氏 着任 消防職員 1名採用
	5月	救急救命士資格取得 1名 救命士業務を開始する。(資格取得者 計1名)
12年度	4月	消防職員 1名採用
	5月	救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計2名)
	3月	初代消防長 藤原壽一氏 退任 (平成12年度 消防職員1名退職)
13年度	4月	第2代消防長 伊藤勇三郎氏 着任(大台町役場からの出向)
	5月	救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計3名)
14年度	4月	消防職員 1名採用 東海地震に係る地震防災対策強化地域に南島町、紀勢町の2町が指定される。 (平成14年4月24日指定)
	5月	救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計4名)
	10月	管理者 千原 淳氏 退任 副管理者 上野征治氏 退任 収入役 森本利樹氏 退任
	12月	管理者 古家 孟氏 着任 副管理者 谷口友見氏 退任
	3月	奥伊勢消防署に指揮支援車1台を配備する。 奥伊勢消防署に災害用エアートント1基を配備する。 (平成14年度 消防職員1名退職) 副管理者 柏木廣文氏 着任
	3月	奥伊勢消防署に指揮支援車1台を配備する。 奥伊勢消防署に災害用エアートント1基を配備する。 (平成14年度 消防職員1名退職) 副管理者 柏木廣文氏 着任
15年度	4月	副管理者 森阪清太郎氏 着任 収入役 中村建也氏 着任 消防職員 5名採用
	5月	救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計5名)

	7月	南島分署に高規格救急車1台を配備する。
	8月	日本宝くじ協会から消火通報訓練指導車1台の寄贈を受け、奥伊勢消防署に配備する。
	12月	東南海・南海地震防災対策推進地域に管轄町村(三重県全域)が指定される。 (平成15年12月17日指定)
	3月	第2代消防長 伊藤勇三郎 氏 退任 (平成15年度 消防職員1名退職)
16年度	4月	第3代消防長 中道剛士 氏 着任 消防職員 5名採用
	5月	救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計6名)
	9月	台風21号に伴う豪雨災害発生(宮川村・紀勢町・大内山村) (平成16年9月29日)
	10月	副管理者 柏木廣文 氏 退任 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計7名)
	12月	副管理者 柏木廣文 氏 再任
	2月	管内3町村(大宮町、紀勢町、大内山村)が合併し「大紀町」となり、引き続き当組合に加入する。 (平成17年2月14日) 副管理者 柏木廣文 氏 退任
	3月	伊勢農業協同組合から寄附金(壹千万円)を受ける。
17年度	4月	消防職員 6名採用
	5月	副管理者 柏木廣文 氏 再任 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計8名)
	7月	携帯電話からの119番通報が直接受信に切り替わる。
	10月	南島町と南勢町が合併し「南伊勢町」となり、引き続き旧南島町地域のみ当組合に加入する。 (平成17年10月1日) 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計9名)
	1月	大台町と宮川村が合併し「大台町」となり、引き続き当組合に加入する。 (平成18年1月10日) 管理者 古家 孟 氏 退任 副管理者 森阪清太郎 氏 退任 収入役 中村建也 氏 退任
	3月	管理者 柏木廣文 氏 着任 副管理者 尾上武義 氏 着任 副管理者 西村太三郎 氏 着任 収入役 玉井保正 氏 着任

		<p>近畿自動車道尾鷲勢和線(大宮大台IC)が開通する。 (平成18年3月11日)</p> <p>消防本部に支援車1台を配備する。 南島分署に災害用エアートント1基を配備する。 全職員にセパレート型防火衣を貸与する。 全署所にAED 及びバックボードを配備する。 (平成17年度 消防職員4名退職)</p>
18年度	4月	救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計10名)
	6月	クールビズ実施
	3月	<p>第3代消防長 中道 剛士 氏 退任 (平成18年度 消防職員1名退職)</p>
19年度	4月	第4代消防長 北出 幸一 氏 着任(大紀町役場からの出向)
	3月	第4代消防長 北出 幸一 氏 退任
20年度	4月	<p>第5代消防長 大滝 幸久 氏 着任(大台町役場からの出向) 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計11名)</p>
	1月	第5代消防長 大滝 幸久 氏 退任
	2月	<p>近畿自動車道尾鷲多気線(紀勢大内山IC)が開通する。 (平成21年2月7日)</p> <p>管理者 柏木 廣文 氏 退任 尾上 武義 氏 着任 副管理者 尾上 武義 氏 退任 稲葉 輝喜 氏 着任 副管理者 西村 太三郎 氏 退任 余谷 道義 氏 着任 収入役 玉井 保正 氏 退任 会計管理者 大瀬 恭信 氏 着任</p> <p>奥伊勢消防署に救助工作車1台を配備する。 紀勢分署に高規格救急車1台を配備する。</p>
	3月	会計管理者 大瀬 恭信 氏 退任
21年度	4月	<p>会計管理者 上野 拓治 氏 着任 第6代消防長 中田 久壽陽 氏 着任(大台町役場からの出向) 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計12名)</p>
	11月	副管理者 稲葉 輝喜 氏 退任
	12月	<p>副管理者 谷口 友見 氏 着任 奥伊勢消防署に2台目の高規格救急車を配備する。</p>
	1月	副管理者 余谷 道義 氏 退任
	2月	<p>副管理者 小山 巧 氏 着任 管理者 尾上 武義 氏 退任 会計管理者 上野 拓治 氏 退任</p>

		<p>管 理 者 尾上武義氏 再任 会計管理者 上野拓治氏 再任</p>
	3月	<p>会計管理者 上野拓治氏 退任</p>
22年度	4月	<p>会計管理者 高西立八氏 着任 消防職員 4名採用 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計13名)</p>
	10月	<p>宮川出張所に高規格救急車1台を配備する。</p>
23年度	4月	<p>消防職員 3名採用 救急救命士資格取得 1名(資格取得者 計14名)</p>
	3月	<p>第6代消防長 中田久壽陽氏 退任</p>
24年度	4月	<p>第7代消防長 山川高弘氏 着任 消防職員 3名採用 救急救命士資格取得 2名(資格取得者 計16名) 山岳救助隊発足</p>
	8月	<p>奥伊勢消防署に山岳救助資機材搬送車を配備する</p>
	11月	<p>奥伊勢消防署の高規格救急車1台を更新する 奥伊勢消防署の指揮支援車を更新する</p>
	3月	<p>会計管理者 高西立八氏 退任</p>
25年度	4月	<p>会計管理者 野呂泰道氏 着任 消防職員 3名採用 救急救命士資格取得 2名(資格取得者 計18名)</p>
	3月	<p>会計管理者 野呂泰道氏 退任 第7代消防長 山川高弘氏 退任</p>
26年度	4月	<p>会計管理者 山本晃史氏 着任 第8代消防長 中西常夫氏 着任 消防職員 3名採用(救急救命士資格者1名) 救急救命士資格取得 2名(資格取得者 計21名)</p>
	3月	<p>新南島分署が完成し移転する。</p>
27年度	4月	<p>消防職員 2名採用 救急救命士資格取得 2名(資格取得者 計23名)</p>
	7月	<p>消防救急デジタル無線及び高機能消防指令システム(新通信室)の運用を開始する。</p>

紀勢地区広域 消防組合の記録

紀勢地区広域消防組合の記録(大会出場等)

救助技術の部

年度	月	記 録 内 容
10年度	7月	第22回三重県消防救助技術指導会へ初出場する。 第27回東海地区救助指導会に5種目出場する。 (ロープ渡過・ロープ登はん・はしご登はん・ロープ応用登はん・ロープブリッジ救出)
11年度	7月	第23回三重県救助技術指導会に6種目出場する。 第28回東海地区救助指導会に3種目出場する。 (ロープブリッジ渡過・はしご登はん・ロープブリッジ救出)
12年度	7月	第24回三重県救助技術指導会に5種目出場する。 第29回東海地区救助指導会に3種目出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ)
	8月	第29回全国消防救助技術大会(熊本)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞)
13年度	7月	第25回三重県救助技術指導会に3種目出場する。 第30回東海地区救助指導会に3種目出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で2名入賞を果たし、全国大会へ)
	8月	第30回全国消防救助技術大会(東京)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で2名入賞)
14年度	7月	第26回三重県消防救助技術指導会に3種目出場する。
	8月	第31回東海地区救助指導会に3種目出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ) 第31回全国消防救助技術大会(名古屋)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞)
15年度	7月	第27回三重県消防救助技術指導会に出場する。
	8月	第32回東海地区救助指導会に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で2名入賞、ロープ登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ) 第32回全国消防救助技術大会(仙台)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で2名、ロープ登はんの部で1名入賞)
16年度	7月	第28回三重県消防救助技術指導会に出場する。

	8月	<p>第33回東海地区救助指導会に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞、ロープ登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ)</p> <p>第33回全国消防救助技術大会(神戸)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名、ロープ登はんの部で1名入賞)</p>
17年度	8月	<p>第34回東海地区救助指導会に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で2名入賞、ロープ登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ)</p> <p>第34回全国消防救助技術大会(さいたま)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で2名、ロープ登はんの部で1名入賞)</p>
18年度	8月	<p>第35回東海地区救助指導会に3種目出場する。 (はしご登はんの部で1名入賞を果たし、全国大会へ)</p> <p>第35回全国消防救助技術大会(札幌)に出場する。 (はしご登はんの部で1名入賞)</p>
19年度	7月	第36回東海地区救助指導会に2種目出場する。
20年度	8月	第37回東海地区救助指導会に2種目出場する。
21年度	7月	<p>第38回東海地区救助指導会に2種目出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞を果たし、全国大会へ)</p>
	8月	<p>第38回全国消防救助技術大会(横浜)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞)</p>
22年度	8月	第39回東海地区救助指導会に2種目出場する。
24年度	7月	第41回東海地区救助指導会に2種目出場する。
25年度	7月	第42回東海地区救助指導会に2種目出場する。
	8月	<p>第42回全国消防救助技術大会(広島)に出場する。 (ロープブリッジ渡過の部で1名入賞)</p>
26年度	7月	第43回東海地区救助指導会に3種目出場する。

消防職員意見発表会の部

年度	月	記 録 内 容
9年度	4月	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会(恵那)に出場し、優秀賞を受賞する。
17年度	4月	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会(名張)に出場し、最優秀賞を受賞する。(全国大会へ)
	5月	第28回全国消防職員意見発表会(熊本)に出場し、入賞する。

消防現勢

消防の管轄

当組合は、大台町・大紀町・南伊勢町（旧南島町地区）の3町を管轄しています。



(平成27年4月1日現在)

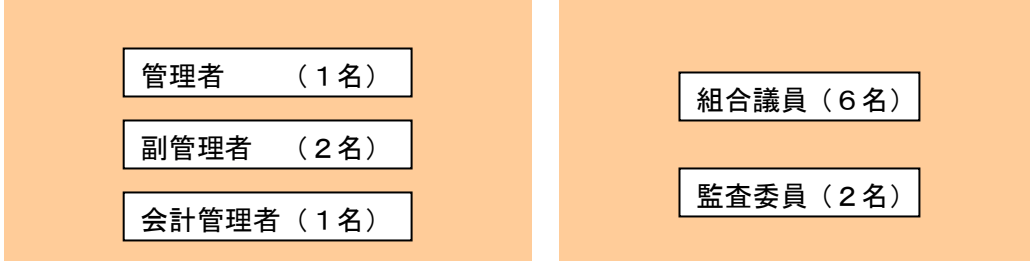
区分	面積 (k m ²)	世帯数	人口 (人)
大台町	362.94	4,255	9,964
大紀町	233.54	4,300	9,415
南伊勢町 (旧南島町地区)	133.08	2,786	6,012
計	729.56	11,341	25,391

消防の組織

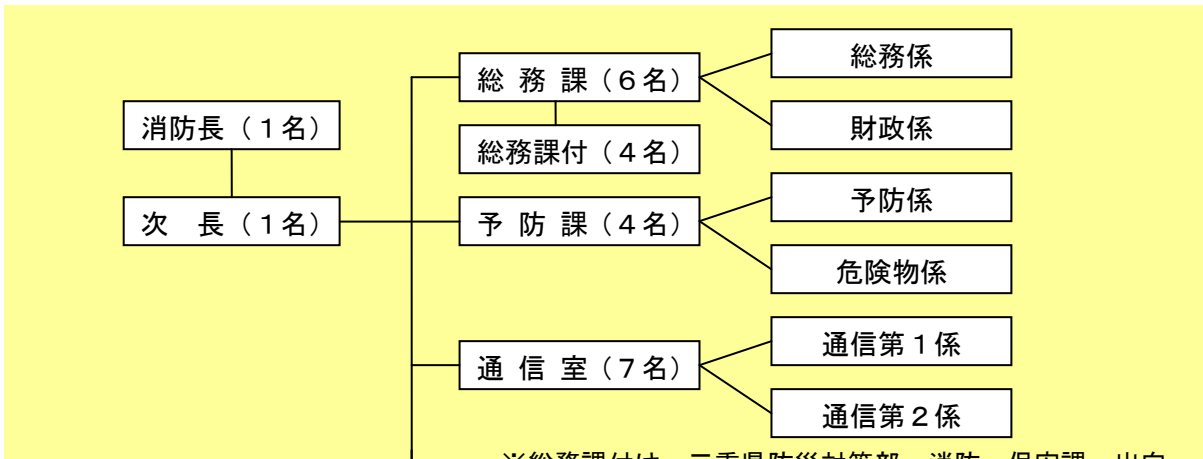
消防事務（消防団、消防水利事務を除く。）を行う行政機関です。1本部1署2分署1出張所で業務を行っています。

消防組合

(平成27年4月1日現在)

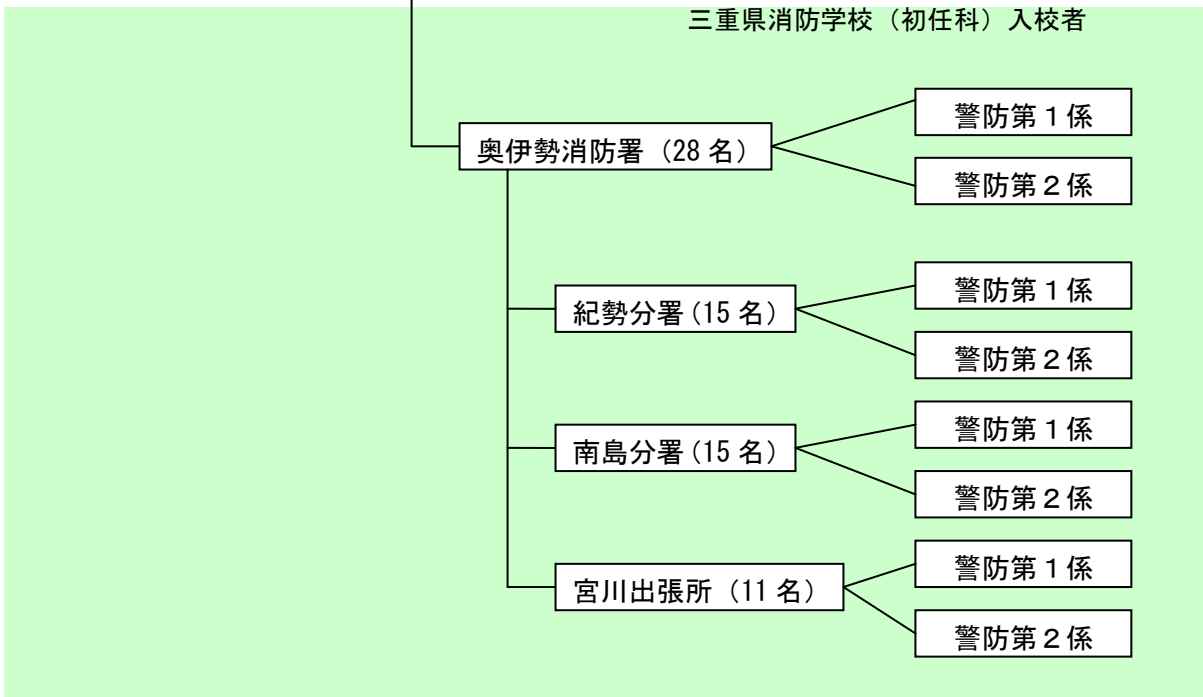


消防本部 (23名)



※総務課付は、三重県防災対策部 消防・保安課 出向
三重県消防学校教官派遣
三重県消防学校（初任科）入校者

消防署 (69名)




合計 92名


消防庁舎

1本部 1署 2分署 1出張所で消防業務を行っています。


○消防本部及び奥伊勢消防署

	<p>所在地：多気郡大台町佐原754番地 構造：鉄骨造 階数：2階 延面積：1667.50㎡ 完成年月日：平成9年2月21日 管轄区域：大台町、大紀町(滝原・阿曾・七保地区)</p>
---	---


○紀勢分署

	<p>所在地：度会郡大紀町崎1871番地 構造：鉄骨造 階数：1階 延面積：459.69㎡ 完成年月日：平成8年11月25日 管轄区域：大紀町(崎・柏野・錦・大内山地区)</p>
--	---

○南島分署

	<p>所在地：度会郡南伊勢町村山22番地 構造：鉄骨造 階数：2階 延面積：663.9㎡ 完成年月日：平成27年3月25日 管轄区域：南伊勢町(旧南島町区域)</p>
---	---

○宮川出張所

	<p>所在地：多気郡大台町小滝370番地 構造：鉄骨造 階数：3階 延面積：476.61㎡ 完成年月日：平成8年11月18日 管轄区域：大台町(旧宮川村区域)</p>
---	---

高機能消防指令システム

消防本部通信室にて、管内各町からの119番通報を24時間体制で一括して受信し、瞬時に災害発生場所を特定し、出動車両の編成及び出動指令の送出を行います。

主な 機 器	指令制御装置	自動出動指定装置	地図等検索装置
	データメンテナンス装置	地図等検索装置	長時間録音装置
	非常用指令整備	位置情報通知システム	システム監視装置
	車両運用表示盤	多目的情報表示盤	映像制御装置
	指令伝送装置	気象情報収集装置	音声合成装置
	無停電電源装置	直流電源装置	出動車両運用管理装置
	署所端末装置（署所に設置）	車両運用端末装置（各車両に設置）	





署所端末装置（署所に設置）

消防救急デジタル無線

消防救急デジタル無線の整備により、秘匿性を高め個人情報保護、目的に応じた通信手段の選択、無線通信エリアの拡大、雑音の無いクリアな通話等が可能となり、各種災害に対し効果的な現場活動を実現します。

基地局		移動局	消防本部	奥伊勢署	紀勢分署	南島分署	宮川出張所
浅間中継所	1	車載型	1	9	4	3	3
始神高中継所	1	携帯型		4	3	3	2
神前浦中継所	1	可搬型		1			1
		卓上型	1		1	1	

始神高中継所



消防車両等

○消防本部 (2台)

<p>広報車</p> <p>登録:三重 88 す 36-40 導入:平成8年11月 メーカー:ホンダ</p>		<p>連絡車</p> <p>登録:三重 301 た 1933 導入:平成21年9月 メーカー:トヨタ</p>	
---	---	---	---

○奥伊勢消防署 (9台)

<p>水槽付き 消防ポンプ自動車</p> <p>登録:三重 88 ゆ 21-11 導入:平成9年3月 メーカー:日野</p>		<p>後方支援車</p> <p>登録:三重 800 す 84-69 導入:平成24年10月 メーカー:マツダ</p>	
<p>消防ポンプ自動車</p> <p>登録:三重 88 ほ 88-64 導入:平成8年3月 メーカー:いすゞ</p>		<p>高規格 救急自動車</p> <p>登録:三重 832 ひ 119 導入:平成24年11月 メーカー:トヨタ</p>	
<p>救助工作車</p> <p>登録:三重 831 ら・119 導入:平成21年2月 メーカー:日野</p>		<p>高規格 救急自動車</p> <p>登録:三重 832 す 119 導入:平成21年12月 メーカー:トヨタ</p>	
<p>資機材搬送車</p> <p>登録:三重 88 す 36-48 導入:平成8年10月 メーカー:トヨタ</p>		<p>広報車</p> <p>登録:三重 88 す 33-24 導入:平成8年4月 メーカー:日産</p>	
<p>広報車</p> <p>登録:三重 831 ふ・119 導入:平成18年3月 メーカー:トヨタ</p>			

○紀勢分署（4台）

<p>水槽付き 消防ポンプ自動車 登録:三重 88 ゆ 20-46 導入:平成8年11月 メーカー:いすゞ</p>		<p>広報車 登録:三重 88 す 36-41 導入:平成8年11月 メーカー:ホンダ</p>	
<p>消防ポンプ自動車 登録:三重 88 ま 2-88 導入:平成8年11月 メーカー:いすゞ</p>		<p>高規格 救急自動車 登録:三重 831 ろ・119 導入:平成21年2月 メーカー:トヨタ</p>	

○南島分署（3台）

<p>消防ポンプ自動車 登録:三重 88 ま 2-86 導入:平成8年11月 メーカー:いすゞ</p>		<p>高規格 救急自動車 登録:三重 800 さ 83-95 導入:平成15年7月 メーカー:トヨタ</p>	
<p>広報車 登録:三重 88 す 33-24 導入:平成8年11月 メーカー:ホンダ</p>			

○宮川出張所（3台）

<p>水槽付き 消防ポンプ自動車 登録:三重 88 ゆ 19-16 導入:平成8年3月 メーカー:いすゞ</p>		<p>高規格 救急自動車 登録:三重 832 て・119 導入:平成22年10月 メーカー:トヨタ</p>	
<p>資機材搬送車 登録:三重 80 あ 18-14 導入:平成9年3月 メーカー:ホンダ</p>			

消防の予算（平成27年度）

住民の税金等大切なお金を町の分担金として頂き、火災、救急及び大規模災害などの有事に備えて、住民が安心して暮らせるように有効に活用しています。

歳入

区 分	予算額(千円)	構成比率(%)	備 考
1 分担金及び負担金	993,794	95.60	町からの分担金
2 使用料及び手数料	100	0.01	危険物関係手数料
3 財産収入	100	0.01	財政調整基金利子、
4 繰入金	25,430	2.45	財政調整基金繰入金
5 繰越金	4,000	0.38	前年度繰越金
6 諸収入	16,111	1.55	預金利子、団体保険事務手数料等、高速道路支弁金
歳 入 合 計	1,039,535	100.00	

歳出

区 分	予算額(千円)	構成比率(%)	備 考
1 議会費	98	0.01	議会に係る費用
2 総務費	91,939	8.84	事務等に係る費用
3 消防費	911,448	87.69	隊員、資器材等に係る費用
4 公債費	35,450	3.41	組合債に伴う返済金
5 諸支出金	100	0.01	財政調整基金積立
6 予備費	500	0.04	予備
歳 出 合 計	1,039,535	100.00	

消防組合に対する住民1人当たりの必要額 約39,140円（分担金÷管内人口）

※ 構成比率(%)に関しては、端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがあります。

消防統計

平成26年中の主な行事

消防は、火災や救急などの緊急出動以外に、次のような行事、訓練を行っています。

月 日	行 事
1 月	消防訓練、消防訓練指導、消防団出初式（大台町、大紀町、南伊勢町）、地水利調査、文化財消防訓練、高齢者防火調査
2 月	消防訓練指導、高齢者防火調査、地水利調査
3 月	救急法指導、春季火災予防運動防火広報パレード、消防訓練指導、住宅防火診断、地水利調査
4 月	救急法指導、消防訓練指導、登山道踏査、消防団新入団員訓練、地水利調査
5 月	救急法指導、消防訓練指導、消防団訓練指導、地水利調査、防災航空隊合同訓練、消防団新任・幹部訓練
6 月	外国人研修、救急法指導、消防訓練指導、消防団訓練指導、地水利調査、河川安全指導、普通救命講習
7 月	救急法指導、七夕飾り防火広報、地水利調査、消防団訓練指導
8 月	救急法指導、消防団訓練指導、水難事故防止広報、地水利調査、防災訓練、水難救助訓練
9 月	救急法指導、消防訓練、消防訓練指導、消防団訓練指導、地水利調査、中学生職場体験学習、防災訓練 高齢者防火調査
10 月	救急法指導、警防技術交換会、小学生職場見学、消防訓練指導、地水利調査、防災訓練、防火広報
11 月	秋季火災予防運動防火広報パレード、小学生職場見学、消防訓練指導、消防広報、他消防本部との合同訓練、地水利調査、中学生職場体験学習 高齢者防火調査、住宅防火診断
12 月	救急法指導、消防訓練指導、地水利調査、防災訓練 高齢者防火調査、住宅防火診断

消防訓練指導



職場体験



救急法



職員の研修（平成26年度）

住民の方々が、より安全、安心に暮らせるように職員の知識と技術を向上させることを目的としています。

三重県消防学校研修

区 分	初任科	警防科	予防査察科	火災調査科	危険物科	救助科		救急科	初級幹部科	中級幹部科	上級幹部科	特殊災害科	指揮課程
						救助課程	水難救助課程	救急課程 (口課程含む)					
人数	3	4	1			2			4	3		2	2
累積	91	22	12	13	5	28	0	87	29	11	5	7	4

消防大学校研修

区 分	総合教育		専科教育				
	幹部科	上級幹部科	警防科	救助科	救急科	予防科	火災調査科
人数							
累積	3	0	3	1	0	0	0

救命士養成研修所

区 分	東京	九州	名古屋
人数	2		
累積	17	1	4

その他の研修

研 修	研 修
危険物安全講習会	情報公開・個人情報保護にかかる研修会
小型移動式クレーン技能講習	公務災害防止研修会
違反是正研修会	電気保安講習会
救急講演会	住宅防火防災推進シンポジウム
高圧ガス講習会	東海地区消防機関原因究明技術研修会
愛知 JPTEC インストラクターコース	救助オープンカレッジ
安全運転管理者講習会	救急コ・メディカルセミナー
交通安全（自動車事故対策）研修会	消防法令違反是正事例研究会
火災調査研究発表会	J P T E C 三重プロバイダーコース
法制執務研修（初級Dコース）	予防技術検定
鉄道車両構造講習会	MCLS コース受講
調査技術会議	ICLS コース受講
P S L S コース受講	NCPR コース受講
スタティックロープレスキューセミナー	訴訟対応研修会
地球温暖化対策実行計画策定と推進に関する研修会	

火災の統計

○火災 12件

[平成26年1月1日～平成26年12月31日]

町村別 種別	大台町	大紀町	南伊勢町 (旧南島町地区)	合計
建物火災		3		3
林野火災		1		1
車両火災		1		1
船舶火災				
その他火災	3	3	1	7
合計	3	8	1	12
死者				
負傷者				
損害額(千円)	0	10,094	0	10,094

火災1件あたりの平均損害額：841千円

◇月別

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
建物火災			1			1			1			
林野火災	1											
車両火災					1							
船舶火災												
その他火災		2	1	2	2							

◇時間別

時間帯別 種別	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21	21～24
建物火災			2			1		
林野火災						1		
車両火災			1					
船舶火災								
その他火災			2	1	2		2	

救急・救助の統計

○救急 1,600件

[平成26年1月1日～平成26年12月31日]

種別	町別	大台町	大紀町	南伊勢町 (旧南島町地区)	管轄区域外	合計
急病		347	408	269	0	1024
一般負傷		104	88	64	0	256
交通		37	24	16	3	80
その他		121	37	82	0	240
合計		609	557	431	0	1,600

1日あたりの平均救急件数 4.4件

◇月別

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
130	152	132	130	139	120	127	161	123	109	141	135

◇曜日別

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
217	252	244	228	226	220	213

◇時間帯別

0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
78	42	44	111	200	214	180	168	171	155	132	105

◇現場到着所要時間別

3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上
51	83	325	908	233

○救助 23件

[平成26年1月1日～平成26年12月31日]

種別	町別	大台町	大紀町	南伊勢町 (旧南島町地区)	管轄区域外	合計
交通		3	4	4	1	12
水難		0	0	0	0	0
その他 (山岳、急病、一般負傷等)		6	3	2	0	11
合計		9	7	6	1	23

防火対象物

防火対象物とは、防火上安全を確保するため、消防法等で規制がされている建物等を指します。

○防火対象物数 987件

[平成27年4月1日現在]

消防法施行令別表第1区分		町 別			計	
項別	業 態	大台町	大紀町	南伊勢町 (旧南島町地区)		
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場			0	
	ロ	公会堂、集会場	30	19	22	71
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等		1		1
	ロ	遊技場、ダンスホール	2			2
	ハ	風俗業等を営む店舗				0
	ニ	カラオケボックス等				0
(3)	イ	待合、料理店等				0
	ロ	飲食店	4	6	1	11
(4)		百貨店、マーケット等	25	16	8	49
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	6	17	13	36
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	30	17	9	56
(6)	イ	病院、診療所、助産所	8	5	5	18
	ロ	老人短期入所施設等	11	14	3	28
	ハ	老人デイサービスセンター等	6	13	6	25
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校、養護学校				0
(7)		小学校、中学校、高等学校等	23	11	8	42
(8)		図書館、博物館、美術館等	2	1	1	4
(9)	イ	公衆蒸気浴場、公衆熱気浴場等		1		1
	ロ	上記に掲げる以外の公衆浴場				0
(10)		車両の停車場等				0
(11)		神社、寺院、教会等	15	21	11	47
(12)	イ	工場、作業所	118	73	38	229
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				0
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	2	1		3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0
(14)		倉庫	29	22	33	84
(15)		前各項に該当しない事業所	74	73	35	182
(16)	イ	特定用途を含む複合防火対象物	30	26	19	75
	ロ	上記以外の複合防火対象物	9	7	7	23
計			424	344	219	987

危険物施設

危険物とは、火災や爆発などを起こしやすく、損害を与えるおそれのある物品です。消防法で定める一般的なもので、ガソリン、灯油及び重油などがあります。危険物施設は、それらを製造、貯蔵及び取り扱う所を指します。

○危険物施設数 152件

[平成27年4月1日現在]

製造所		0
貯蔵所	屋内	6
	屋外タンク	46
	屋内タンク	1
	地下タンク	19
	簡易タンク	0
	移動タンク	16
	屋外	2
取扱所	給油	46
	販売	0
	移送	0
	一般	16
計		152

届出書類等の受理

消防本部及び消防署では消防関係法令に基づき提出された届出書類等の受付、審査、許可、認可等の処理を行っています。

○消防本部へ提出を要する届出書類等

[平成26年4月1日～平成27年3月31日]

届出書類等の名称		受理件数
消防用設備等	建築物確認申請書(消防同意事務)	13
	消防用設備等設置(工事)計画書	12
	工事対象設備等着工届出書	49
	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書	20
	防火対象物使用開始届出書	11
防火管理	防火対象物点検結果報告書	3
	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書	150
	防火管理者選任(解任)届出書	54
	消防計画作成(変更)届出書	65
危険物施設	危険物施設設置許可申請書	2
	危険物施設変更許可申請書	3
	危険物施設完成検査前検査申請書	0
	危険物施設完成検査申請書	6
	危険物施設仮使用承認申請書	3
	危険物施設仮貯蔵・取扱い申請書	0
	危険物施設休止・再開届出書	2
	品名・数量又は倍数変更届出書	1
	危険物譲渡引渡し届出書	0
	危険物施設変更届出書	7
	危険物施設設置(変更)取り下げ届出書	0
	危険物施設廃止届出書	2
	危険物保安監督者選任・解任届出書	2
	予防規程制定・変更認可申請書	0

○消防署へ提出を要する届出書等

[平成26年4月1日～平成27年3月31日]

届出書等の名称		受理件数				
		奥伊勢 消防署	紀勢 分署	南島 分署	宮川 出張所	計
その他の設備	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出書	1		1		2
	発電/変電/蓄電池設備設置届出書	8	4	6	12	30
	炉・ボイラー等火を使用する設備設置届出書				2	2
	少量危険物貯蔵設置・指定可燃物取扱い変更届出書	4		4	5	13
	少量危険物貯蔵・指定可燃物取扱い廃止届出書	5		2	1	8
行為等	水道断水・減水届出書					
	道路工事届出書	118	27	33	7	185
	催物開催届出書					
	煙火打ち上げ・仕掛け届出書	4	3	6		13
	火災とまぎらわしい煙等届出書	2		2	2	6
防火管理	消防訓練通知書	39	21	30	15	105
	防火責任者選任(解任)届出書	19		14	1	34

紀勢地区 防火協会

紀勢地区防火協会

本会は、防火思想の普及を図り、火災予防を推進し、火災厄災を防止するとともに、危険物の貯蔵取扱等の安全と会員相互の融和協調を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

○平成26年度中の消防に関する協賛事業等

月 日	事 業 内 容	開催場所
5月14日	乙種第4類危険物取扱者試験予備講習会	消防本部
6月8～14日	危険物安全週間（保安講習案内の配布等）	管内各町
6月11日	危険物安全講習会	志摩市
7月1～7日	七夕飾りによる防火広報	奥伊勢消防署他
8月30～9月5日	防災週間	管内各町
10月21～22日	甲種防火管理者資格取得講習会	大台町健康ふれあい会館
10月～11月	各町イベントへの参加	管内各町
11月9～15日	秋季全国火災予防運動	管内各町
1月26日	文化財防火デー	管内各町
3月1～7日	春季全国火災予防運動	管内各町
3月	防火協会だよりの発行	管内全戸配布

七夕飾りによる防火広報



乙種第4類危険物予備講習



各町イベントへの参加



消防団

消防団

各町村の地域住民で構成し、火災等で活動するなど地域を守る組織です。

○消防団員

[平成27年4月1日現在]

	大台町	大紀町	南伊勢町 (旧南島町地域)	計
実員	362	346	313	1021
団長	1	1	1	3
副団長	3	5	1	9
分団長	10	11	4	25
副分団長	10	11	4	25
部長		28	12	40
班長	33	54	33	120
団員	305	236	258	799

○資機材

消防ポンプ自動車		3	2	5
水槽車		1	1	2
小型動力ポンプ	6		12	18
小型動力ポンプ積載車	34	32	23	89

○平成26年度中の消防団の主な動き

月日	行 事
4. 13	消防団新入団員訓練 (大台町)
4. 13	消防団入退団式及び新幹部就任式 (南伊勢町)
5. 11	消防団新任者・幹部合同訓練 (大紀町)
5. 15	春季訓練 (南伊勢町)
5. 25	多気郡管内消防団幹部訓練
7. 27	消防団消防訓練 (大紀町)
8. 3	消防団放水訓練 (大台町)
9. 1	南伊勢町総合防災訓練
11. 7	消防団冬季訓練 (南伊勢町)
11. 9	火災予防広報パレード
12. 7	防災訓練 (大紀町)
1. 4	消防団出初式 (大台町・大紀町・南伊勢町)
1. 20	文化財防火デーに伴う訓練 (南伊勢町)
3. 8	消防団水防訓練 (大紀町)

大台町消防団放水訓練



大紀町消防団水防訓練



平成27年7月 発行

消 防 年 報
平成26年版（第17号）

編集発行 紀勢地区広域消防組合消防本部
